



(農林水産省) 農業参入・情報交換会

Plenus

農業事業参入への取組み

2025年10月10日

contents

- 1. プレナスの紹介
- 2. なぜ農業事業へ参入したのか？
- 3. 参入へ向けての取組み
- 4. 参入後の取組み
- 5. まとめ



■ プレナスの紹介



本社
(東京都中央区)



茅場町オフィス
(東京都中央区)



福岡オフィス
(福岡県福岡市)
→現在建て替え中

本社	東京都中央区銀座 GINZA SIX
主な事業	ほっともっと・フランチャイズ業  Hotto Motto ほっともっと やよい軒・フランチャイズ業  やよい軒 YAYOI
店舗数	ほっともっと 2,426店 やよい軒 609店 (国内360店 海外249店)
従業員数	1,236名
資本金	34億6千万円
売上高	1,708億円 (25年2月期)

プレナスブランド



Hotto Motto
ほっともっと

2,426店



やよい軒
YAYOI KEN

国内：360店



米の年間使用量



Hotto Motto
ほっともっと



やよい軒
YAYOI KEN

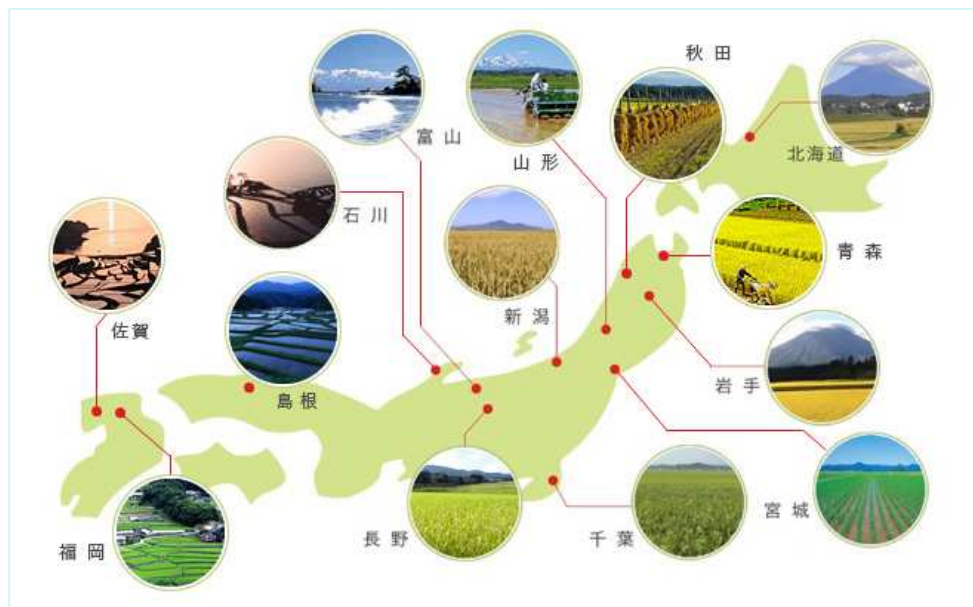


約3万6千^{トン}

国内主食用米の約0.5%

プレナスのお米のこだわり

全国4か所に**自社精米工場**を配置し、鮮度にこだわり**精米したて**を店舗へ配送



「金芽米」に精米



金芽米



自社基準による厳しいチェック



安定した食味を実現するブレンド



新鮮なお米を素早く配送



店舗ではガスの強い火力で炊飯



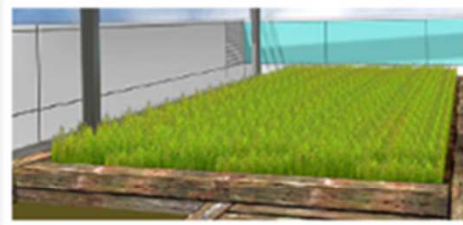
プレナスの米文化継承事業



細川護熙が描く巨大壁画
日本の原風景
棚田の四季



米文化継承番組
The Story of Rice
BBC Earth Productions for Plenus



プレナスの
米育活動



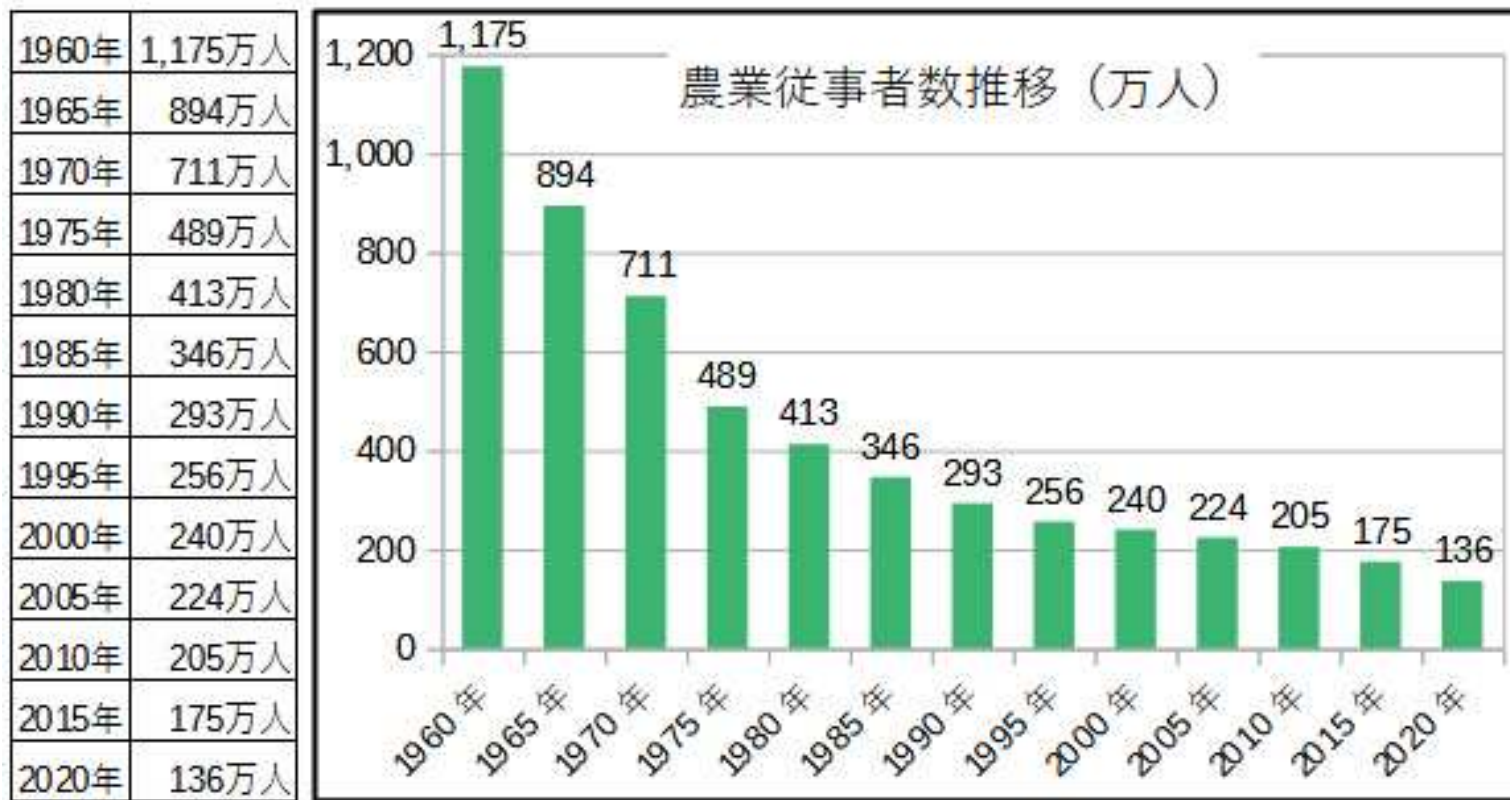
Plenus 米食文化研究所

プレナスは「お米」に
こだわっている会社です！

■なぜ農業事業に 参入するのか？



なぜ農業事業に参入したのか？



出典：農林水産省 農林業センサス累年統計年齢別基幹的農業従事者数

農業従事者の減少と高齢化が進む...

なぜ農業事業に参入したのか？

このまま将来にわたって
安定的に米を調達することができるのか？

お米にこだわる企業として、日本の農業が抱える
問題に寄与できることはないのか？



2020年2月
「自社生産プロジェクト」発足

2021年2月
「米づくり事業推進室」新設
※2023年2月に現・アグリビジネス推進室へ改称

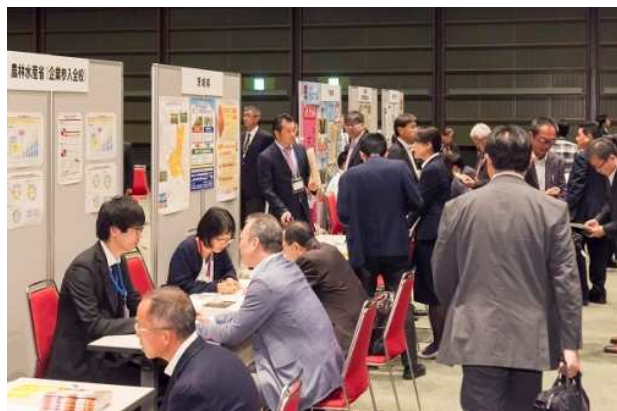
社会課題の解決と、米の安定調達の確保

■ 参入へ向けての 準備



参入へ向けての準備

情報収集と準備



- 1 農林水産省主催「**農業参入フェア**」に参加。
- 2 自社精米工場がある**埼玉県**を最終候補に。
- 3 埼玉県 ⇒ 県内有数の米どころ**加須市**を紹介された。
- 4 加須市の担当者と参入に関する手続き。

農業参入フェアに参加していた
「武蔵野銀行」とコンサルティング契約を
結び、参入までの業務支援を受ける。



《主なコンサルティング内容》

- ☑ 参入スケジュール策定
- ☑ 提携先の斡旋
- ☑ 農地確保の支援
- ☑ 機器・資材・インフラ等の確保支援など

参入へ向けての準備

人材の選定と労務環境・人事制度の整備

☑ 社内には**農業経験者はゼロ**・・・

☑ メンバーの旧所属部署は様々。

(営業担当・仕入れ担当・商品開発担当・立地開発担当・設備担当・店舗調査員など)



人材選定のポイント



「若くて体力がある！」だけではダメ。
自然の中で働く・計画性と判断力・継続性・
コミュニケーション能力が必要！

総合力の
高い人材

☑ 農業従事者は**労基法第41条**により、労働時間、休憩、休日に関する規定の適用から除外。

☑ 農業従事者の**人材育成・キャリアプラン**等の課題。

■ 参入後の取組み



参入後の取組み

農業技術の確保



技術・知識・経験が無い部分をどのようにカバーするか？

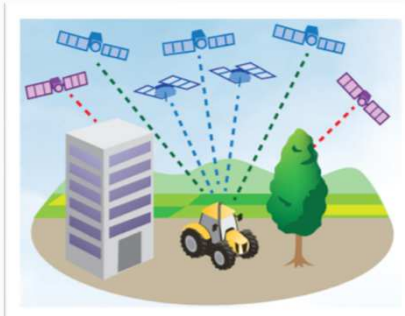
武蔵野銀行を介し、加須市の大手農業法人と
「技術顧問契約」を締結し、指導を受ける。



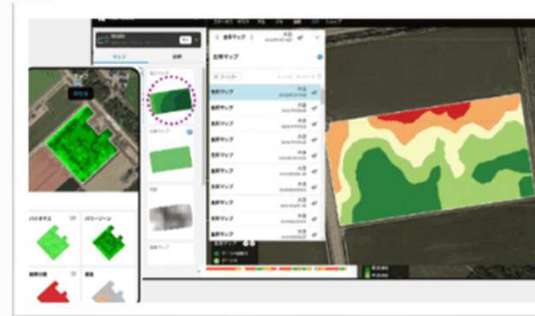
「スマート農業」の積極的な活用



農業用ドローン



自動操舵システム



栽培管理支援システム

参入後の取り組み

農業におけるリスク管理



農業を行う上での法令順守や事業リスクとは？

「農業生産工程管理(GAP)」の活用

埼玉県独自のGAP（**S-GAP**）を加須農林振興センターの支援を受け、2年目に認証。
農業におけるリスク管理や、**安全に作業を行うため**の基本的な知識などを、早期に習得することができた。



埼玉県農林部農産物安全課



参入後の取組み

地域とのつながり

最も重要！



- ☑ 農地維持活動への参加（草刈り・水路清掃など）
- ☑ 収穫したお米を子ども食堂・フードバンクなどへ寄付
- ☑ 地域のお祭りや盆踊り大会への協賛・参加
- ☑ 地域の農業委員や生産者とのコミュニケーション
- ☑ 地元の農業従事者の雇用（正社員）

社内イベントへの活用

- ☑ 社員家族を招いて米づくり&スマート農業体験イベント
- ☑ 社会科見学等の受入れ
- ☑ 新入社員研修での農業体験

地域の清掃活動



近隣の方とのコミュニケーション



加須フードドライブへお米の寄付



牛重地区（加須市）夏祭り



社員の家族を招いて田植え体験イベント



埼玉加須ファーム 井上さんからの
実技指導



いよいよ田植え開始です



田植えのスピードは人によって
かなりの差が出ました

参入後の取組み

農地・農場の拡大

PLENUS - SHONAIMIKAWA - FARM

 プレナス庄内三川ファーム



PLENUS - KAZO - FARM

 プレナス加須ファーム



PLENUS - USA - FARM

 プレナス宇佐ファーム



■ 作付面積の推移

(単位：ヘクタール)

ファーム	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
埼玉加須	2.5	6	17	19	22
庄内三川	—	3	5	19	23
大分宇佐	—	—	16	20	20
【合計】	2.5	9	38	58	65

※大分は麦作との延べ面積

農地拡大の違い

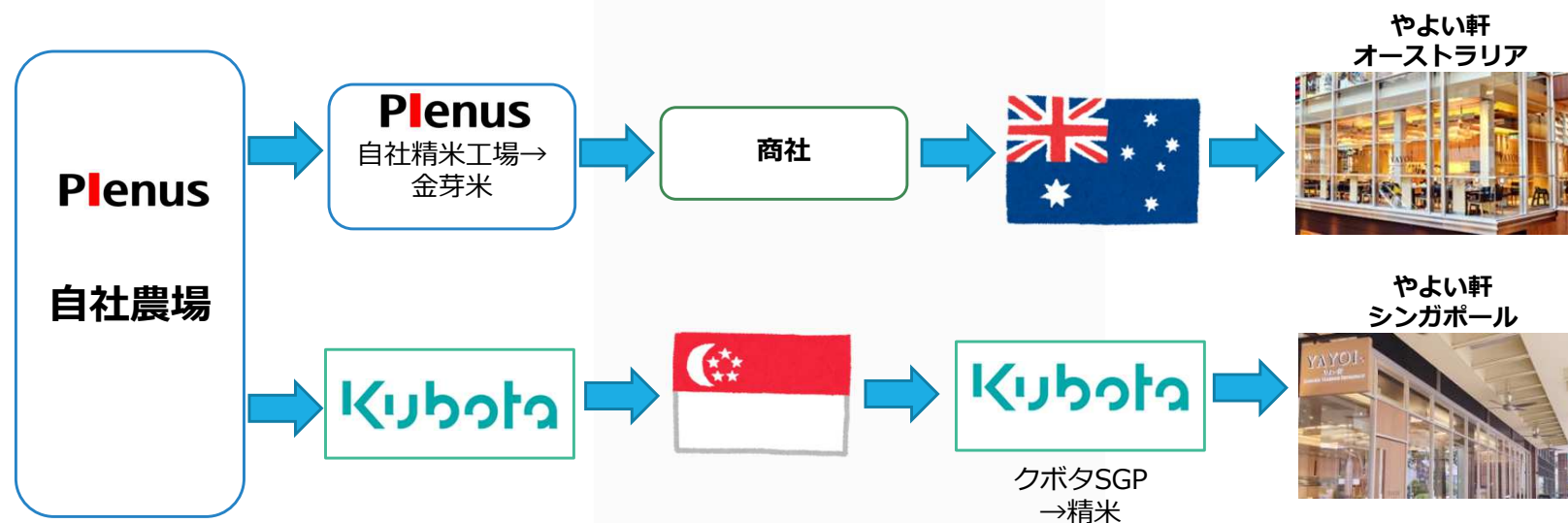


- ☑ 埼玉・山形…**小規模**の農地から耕作を始め、**地域の信頼**を得ながら徐々に拡大。
- ☑ 大分…既存の**農業法人**から、**農地・設備等**を引き継ぎ営農開始。

参入後の取組み

補助金を活用した自社生産米の商流

自社農場で生産したお米は、**国の助成制度（補助金）**を活用して、
海外の「やよい軒」へ輸出



■ まとめ



まとめ

- ☑ 農業参入にあたり、**自社の強み・リソース**を活かせるかどうかを考える。
- ☑ コンサルタントや自治体の窓口は、**とにかく親身**になって話を聞いてくれる！
- ☑ 人材の選定は、**コミュニケーション力**に長けた総合力の高い人材を。
- ☑ 誰に何を教えてもらうのか、**農業技術**をどのように確保するのかを考える。
- ☑ 農業を行う上での、**事業リスク**がどのようなものを理解し、対策を立てる。
- ☑ 農業に関する様々な**助成制度（補助金）**を活用し、事業を円滑に進める。
- ☑ **とにかく地域に根差した活動を！**

サステナビリティ

～田んぼから食卓まで～

